

ウクライナに国民総動員令 ロシア軍の攻撃受け

2022/02/25 10:37

ロシア軍はウクライナ全土の軍事施設などにミサイル攻撃を始めたほか、地上でも戦闘を始めました。これを受けてウクライナのゼレンスキー大統領は、国民総動員令に署名しました。

ウクライナメディアなどによりますと、ゼレンスキー大統領は24日、国民総動員令に署名しました。

同時に、18歳から60歳の男性市民に対してウクライナからの出国を全面的に禁止し、政令の発効から90日以内に動員を実施するということです。

ウクライナ東部の一部の街や首都キエフの北にあるチェルノブイリ原発がロシア軍に制圧されたほか、北部のベラルーシ側からも弾道ミサイルによる攻撃とともに、ロシア軍の部隊が侵攻しているということです。

CNNによりますと、ウクライナ政府はロシア軍による攻撃で、これまでに少なくとも137人が死亡し、316人がけがをしたと発表しました。

FNNプライムオンライン

ウクライナで「総動員令」 出国できず引き返す男性も 国境で国外脱出続く ワールド

2022年2月25日 金曜 午後3:55

ウクライナから最新情報。

ポーランドとの国境に近い街シェヒニにいる立石修記者が中継でお伝えする。

ウクライナ西部ポーランドとの国境シェヒニから5kmの地点。

多くの人たちがポーランドに脱出しようとしている。

攻撃から丸一日がたった今も長い車列が続いていて、歩いて国境を目指す人も多く見られる。

深夜には、親に手を引かれ避難する子どもの姿も見られた。

ゼレンスキー大統領は総動員令に署名、18歳から60歳までの男性は出国が禁止された。

このため、ポーランドに出国できなかつたとみられる男性がウクライナ方面に戻っていく姿も見られた。

ゼレンスキー大統領は、これまでの戦闘により137人が死亡、316人が負傷したと発表していて、首都・キエフでは地下シェルターに避難する人びとも出ているという。

ウクライナ政府は、国民に家にとどまるよう指示を出しているが、各地で戦闘が続いており、人びとには不安が広がっている。